

令和元年度 地域包括ケアシステム推進に向けた取組

○地域の情報収集・共有

- ・キーパーソンヒアリング（稲田地区、菅地区、登戸地区）
- ・町内会・自治会ヒアリング（生田地区、稲田地区、菅地区）
- ・地域包括支援センターとの情報交換（菅地区）
- ・社会福祉協議会地区担当者との情報交換
- ・多摩区地区カルテの改訂

中野島協議会の様子



○地域づくりの取組

- ・生田ご近所パワーアップ集会の開催（生田地区）
- ・のぼりとミーティングの開催（登戸地区）
- ・中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会（中野島地区）
- ・中野島多世代つながり愛フォーラムの開催（中野島地区）
- ・取組報告書（レポート）の配布
- ・地域カフェ等の支援
- ・多摩区認知症カフェ・地域カフェまっぷの作成
協力：多摩区認知症カフェ・地域カフェ交流連絡会

韋駄天カフェ



○医療・介護等多職種連携ネットワーク組織

『チーム・たま』の取組

- ・第9回市民公開講座の開催
開催日：令和元年7月2日（火） 参加人数：140名
テーマ：あなたの人生劇場、一緒に考えませんか？
講師：中尾学道氏（真宗大谷派智願寺住職）
内容：講演、多職種による座談会等
- ・多職種連携に資する研修会の開催
開催日：令和元年10月29日（火） 参加人数：99名
テーマ：「嚥下・摂食障害
～最後まで『食べる』を支える～」
- ・第10回記念市民公開講座の開催
開催日：令和元年12月4日（水） 参加人数：290名
テーマ：あなたの傍には誰がいますか？
「かかりつけ医、そして看取りを」
講師：横倉義武氏（日本医師会長）

○認知症の予防・啓発の取組

- ・小学生を対象とした認知症サポーター養成講座（区内14校で開催）
- ・今年度作成したスライドを活用した中学生に対する認知症講演会（区内5校で開催）
- ・認知症予防講座の開催
多摩区介護予防教室等実施事業として実施。
社会参加・口腔ケア・食生活等の講話、コグニサイズ体験等。

認知症講演会 スライド



生田地区：生田ご近所パワーアップ集会

目的：地域の活動を知ること、つながりやきっかけづくりを目指した集会

開催日：令和元年11月23日（土）15：00～17：00

場所：専修大学サテライトキャンパス

参加者：65人

プログラム：活動紹介（5団体・専修生田ボランティア）、
パネルディスカッション（コーディネーター：専修大学経済学部教授）



登戸地区：のぼりとミーティング2020

目的：登戸地区の団体相互のつながりづくりから地域で支え合いの輪を広げる

開催日：令和2年2月5日（水）14：00～16：30

場所：多摩区役所6階 601会議室

参加者：40人

プログラム：団体活動紹介（出席19団体から）、
休憩・交流、
基調講演（ルーテル学院大学大学院名誉教授）



中野島地区：中野島多世代つながり愛フォーラム

目的：地域活動団体のお互いの活動を知り、今後の推進力とする

開催日：令和2年2月22日（土）14：00～16：00

場所：中野島会館

参加者：55人

プログラム：活動紹介（3団体）、休憩・交流、
講話（東京都健康長寿医療センター研究所非常勤研究員）



令和2年3月2日更新

地域包括ケアシステムの推進に向けた取組の進捗状況

		町連	地区 社協	地区の特徴	これまでの主な取組	方向性	令和元年度下半期の取組		
5 地区 の 地 域 づ く り	稲 田 町 連		菅 地 区	<ul style="list-style-type: none"> ・全域が菅町会の範囲 ・管会館を中心に防災、防犯のまちづくりを推進 ・まとまりはあり町会活動は活発 ・町会加入率は5割未満 ・歴史的な寺社仏閣やお祭り・行事がある ・梨園の跡地の宅地化などにより民間介護事業所(主に有料老人ホーム)が多い 	<p>○町会ヒアリング調査 (H29年度)</p> <p>菅町会は10の小区で構成。地域行事などを行う単位となっている。規模を活かし全体に対する事業実施が町会の基本方針。近隣の仲間意識を持ってもらうことを重視し活動を展開。防災に力を入れている。</p> <p>○キーパーソンヒアリング (H30年度～)</p> <p>民協、町会役員、社協、集合住宅関係などから地域の情報収集。</p> <p>○菅町会大運動会でのオープンワークショップ (H30年度)</p> <p>町会関係者と地域住民の意識の差、山側と平地側の違いを把握。</p> <p>○集合住宅への働きかけ(H30年度～)</p> <p>ふじのき台団地共助委員会に菅芝間住宅の「さわやか訪問活動」を紹介。</p> <p>○地域包括支援センター・菅の里の地域づくりの支援</p> <p>高齢者施設・事業所との情報交換会への参加やカフェの立上げ支援など。 サンビームヒルズで介護予防教室スタート(令和元年9月～毎月実施)</p>	<p>○町会への継続的なアプローチ</p> <p>町会ヒアリングのフォロー、キーパーソンヒアリング等を通じて町会との関係をつくりながら地域の実態調査を継続していく。菅町会内で10年先を考えるプロジェクトチームが立ち上がった。プロジェクトへのヒアリングを通じて地域課題を共有し連携していく。</p> <p>○集合住宅へのアプローチ</p> <p>小地域への介入として、高齢化率が高い集合住宅での具体的取り組みに向けたきっかけづくりについて検討する。</p> <p>○地区活動グループなどへの支援継続</p> <p>○地域包括支援センターと連携した地域活動の促進</p>	<p>○町会の情報収集の継続</p> <p>「10年先を考えるプロジェクトチーム」へのヒアリング、地区カルテを提供 実情や課題など情報収集を継続し、必要に応じて支援・連携。</p> <p>○キーパーソンヒアリングの継続による地域の全体象の把握</p> <p>地域のキーパーソン(町会役員、民生委員、子ども関係など)に話を聞き、地区の実情について情報を収集する。</p> <p>○集合住宅へのアプローチ</p> <p>ふじのき台団地において、コミュニティカフェ立上げの動きがあり、他地区のカフェを紹介。3月7日に「ふじのきゲームカフェ」開催予定。今後も支援を継続。</p> <p>○地域包括支援センター菅の里と連携した取組</p> <p>情報交換のため年3回の打ち合わせを実施し、双方の情報共有を行う。</p>		
				中 野 島 地 区	<ul style="list-style-type: none"> ・中野島町会と小規模な自治会で構成 ・様々な団体が参加するイベントを地域で開催 ・一部地域で高齢化などの課題が顕著 ・中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会でプロジェクト活動を実施 	<p>○「中野島多世代つながり愛プロジェクト」の推進</p> <p>H28～30年度 東京都健康長寿医療センター研究所と協定を結んだ取組</p> <p>多世代で支え合うまちづくりを目指した協議会の運営、あいさつ運動、まちプロ養成講座、中野島ファミリーカフェ、ポールdeウォーク講座など複合的な働きかけを実施。</p> <p>R1年度～ 協定終了後の取組</p> <p>第1回協議会(6月)今後の協議会の進め方について意見交換 第2回協議会(9月)地区カルテを活用したグループワーク実施 第3回協議会(12月)台風19号時の行動、災害に向けて日頃からできることをテーマに意見交換を実施。</p>	<p>○中野島多世代つながり愛プロジェクトの活動継続</p> <p>東京都健康長寿医療センター研究所との「中野島多世代つながり愛プロジェクト」を引き継いだ地域づくりを進めていく。現行活動の継続を基本としながら必要な整理を行い、協議会を中心に愛着を持って住み続けたいと思う中野島を目指した取組を検討する。</p> <p>○中野島多世代つながり愛フォーラムを通じたつながり合いの促進</p> <p>協議会参加団体の活動を互いに知り、理解を深めるとともに、協議会参加団体以外の地区で活動する団体とも交流し、地区全体のつながりを活性化させるためにフォーラムを開催する。</p>	<p>○中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会の運営</p> <p>多世代がつながり支え合う地域づくりを目指し、協議会を中心に中野島における地域づくりの方向性を検討し、地区での共有を進めていく。</p> <p>○中野島多世代つながり愛フォーラムの開催</p> <p>協議会参加団体同士が互いの活動を知り、地区のつながりの活性化を目的に開催。 (令和2年2月22日(土)14時～16時開催) 中野島会館</p> <p>○あいさつ運動、まちプロ活動の支援など現行の活動の継続</p> <p>プロジェクトの理念の実現に向けてあいさつ運動、中野島ファミリーカフェ、ポールdeウォーク等の活動を継続していく。</p>	
					登 戸 地 区	<ul style="list-style-type: none"> ・10町会とマンション管理組合等で構成 ・小田急線、世田谷町田線を境にゆるやかに3つのエリアに分類できる ・町会ごとの取組は類似、登戸連合町会での運動会開催等の取組あり ・登戸区画整理事業の対象地域では活動が難しい ・町会によっては居場所づくりなど地域ニーズを具体化する力がある ・集合住宅が多く、人の出入りが多い 	<p>○町会ヒアリング調査 (H29年度)</p> <p>登戸連合町会を構成している10町会にヒアリングを実施。</p> <p>登戸地区の町会は道路(県道3号線世田谷町田線)と鉄道(小田急線)を境とした3つのエリアに分類できることが判明。町会では防災訓練やお祭り等の連携。</p> <p>○地域カフェの立上げ支援 (H29年度～)</p> <p>グランドカフェ、登戸新川カフェ花みずき、Caféしもがわら(令和元年度開始)</p> <p>○キーパーソンヒアリング (H30年度)</p> <p>民協、町会役員、商店街関係者にヒアリングを実施。同じ地域で活動している団体同士の活動を知り交流する機会があると良いとの意見があった。</p> <p>○のぼりとミーティング (H30年度～)</p> <p>地域で行われている活動を知り、自身の活動のヒントにしてもらうため、地区で活動する団体などに声をかけミーティングを開催。</p>	<p>○実態調査の継続</p> <p>町会以外にも対象を広げたヒアリングを進め、地域ニーズや人材把握など情報収集を継続する。</p> <p>○居場所づくりの支援</p> <p>地域の公共スペースを有効活用したいというニーズと身近な居場所が欲しいというニーズが結びつき、地区内に地域カフェが立ち上がっている。住民主体の活動をさらに広げるために、先行事例のノウハウなど情報をつなげる役割を果たし、住民の具体的な行動を支援する。</p> <p>○地区内での情報交換・交流の促進</p> <p>地区内の団体・人・モノの交流を促進し、地域のつながりを通して支え合いの意識を育む。</p>	<p>○キーパーソンヒアリングの継続</p> <p>地域のキーパーソン(民生委員、町会関係、地元企業など)に話を聞き、地区の実情について情報収集を行う。</p> <p>○地域カフェなどの支援</p> <p>地域カフェなど居場所づくりに関する住民主体の活動を地区に広げるための支援を行う。</p> <p>○のぼりとミーティングの開催</p> <p>地区内の団体や人の交流を促進し、地域でつながり、支え合いの輪を広げるために実施。 (令和2年2月5日(水)14時～16時半開催) 多摩区役所6階601会議室</p>
						稲 田 地 区	<ul style="list-style-type: none"> ・宿河原、長尾、堰の大町会と小規模町会で構成 ・町会ごとの取組は類似しており、連携もあるが考え方は異なり、地区全体としてのまとまりが薄い ・各町会に拠点となる町内会館がある ・地域ごとに成り立ちが異なり、意識や地域づくりへの姿勢に違いがある ・マンション等への若年層の転入者と高齢者が混在した地域 	<p>○町会ヒアリング調査 (H29～30年度)</p> <p>地区を構成する町会からヒアリングし、各町会の活動や関係性などを整理。お祭や防災関係など特定分野では連携があるが、抱える課題や住民の意識、担い手の層などに地域差があり、稲田地区全体としてのまとまりは薄い。</p> <p>○長尾町会、長尾台住宅自治会への働きかけ(H29年度～)</p> <p>長尾台住宅自治会で「これからの長尾を語りあひまの集い」、認知症予防講座、認知症サポーター養成講座、運動講座等を長尾会館で開催。自治会内住民(279世帯)を対象にアンケート調査を実施し、自治会の総会でアンケート結果を返した。「カフェながお」スタート(令和元年10月開始)</p> <p>○キーパーソンヒアリング(H30年度～)</p> <p>地域で活動している団体関係者から地域情報を収集。</p>	<p>○実態調査の継続</p> <p>町会ヒアリングや住民との対話を通じ、地域ごとの住民意識の差など実態把握が進んできており、継続的に調査を行う必要がある。</p> <p>○長尾町会、長尾台住宅自治会への働きかけ</p> <p>長尾地域での取組に寄り添い、住民が抱える不安や課題を解決する具体的な行動につなげるための支援をしていく。</p> <p>○宿河原・堰地域での地域づくりを促進</p> <p>長尾地区での取組(認サポ、アンケート、その他講座から地域カフェの実現)を参考にして、他の地域でもヒアリングを通じてニーズを把握し、住民主体の活動や交流の場づくり等を支援していく。</p>
生 田 町 連	生 田 地 区	<ul style="list-style-type: none"> ・63の大きささまざまな町会やマンション管理組合等があり、団体の構成や活動の濃淡は様々 ・地域が広く、住民の居住環境も様々 ・町連や活動の活発な町会を通じ情報の共有や活動の連携を広げられる土壌がある ・全体への働きかけが可能 ・生田親子運動会など地区全体での取組がある ・非常に活動が活発な町会は3割程度、その他の町会に対する働きかけが課題 ・地区内に3大学があり、地域資源になっている 	<p>○かりがね台モデル事業 (H28年度)</p> <p>地域課題を共有し課題解決に向けたプロセスを通じた地域づくりを実施。</p> <p>○生田ご近所パワーアップ会議 (H29年度)</p> <p>かりがね台モデル事業と生田地区町連勉強会をもとに、地区全体で地域課題を考えることを目的に生田地区町連を対象に連続講座を開催。</p> <p>○生田ご近所パワーアップ集会 (H30年度～)</p> <p>地域を細分化し、民協区域単位で3大学と連携し、身近な地域の活動や課題について考える住民向けの集會を開催。</p> <p>平成30年度対象：生田第2地区民協区域 日本女子大学生涯学習センターで開催</p> <p>○町内会・自治会ヒアリング調査 (H30年度～)</p> <p>生田地区の各町会の活動や課題、町会間の連携や関係性などを聞き取り、町会を中心とした視点での地域の実態を調査。(※進行中 25町会/63町会)</p> <p>○地区の活動支援「韃駄天カフェ」(令和元年5月スタート)</p>				<p>○生田地区町会連合会と連携した地区全体の取組</p> <p>単一町連で7万規模の人口を組織、活発な町会活動という土壌を活かし、地区全体として地域づくりを進める。定期的に町連会議の場で地区の取組を報告する。</p> <p>○細分化した枠組みでの取組</p> <p>「活発な活動のさらなる底上げ」と「活動が乏しく参加がない層の対策」を目指し、小地域での継続的な基礎調査の実施、より生活圏に近い課題につなげるため地区を細分化した取組、地区活動の後押しを進めて行く。</p> <p>○近隣町会同士の連携促進</p> <p>近隣同士が連携した取組があり、ある程度まとまった地域で生活支援の仕組みを構築する可能性を探る。</p>	<p>○町内会・自治会ヒアリングの継続</p> <p>平成30年度～令和2年度の3か年計画でヒアリングを予定。結果を町内会・自治会と共有する。</p> <p>○生田ご近所パワーアップ集会の開催</p> <p>民協区域ごとに、地域で活躍する活動の紹介などの住民向けの集會を、地区ごとに立地する大学と連携して開催する。(3民協区のため1年度1地域の3か年計画) (令和元年度11月23日(土)15時～17時開催 対象：生田東民協区域) <u>専修大学サテライトキャンパス</u></p> <p>○地区活動の支援</p> <p>地区活動の支援を継続する。</p> <p>○年間の取組の報告</p> <p>生田地区町会連合会の会議の場で年間の取組について報告を実施する。また住民に向けた報告として取組をまとめたレポートを作成し回覧する。</p>	